



LABORATORY BLENDER

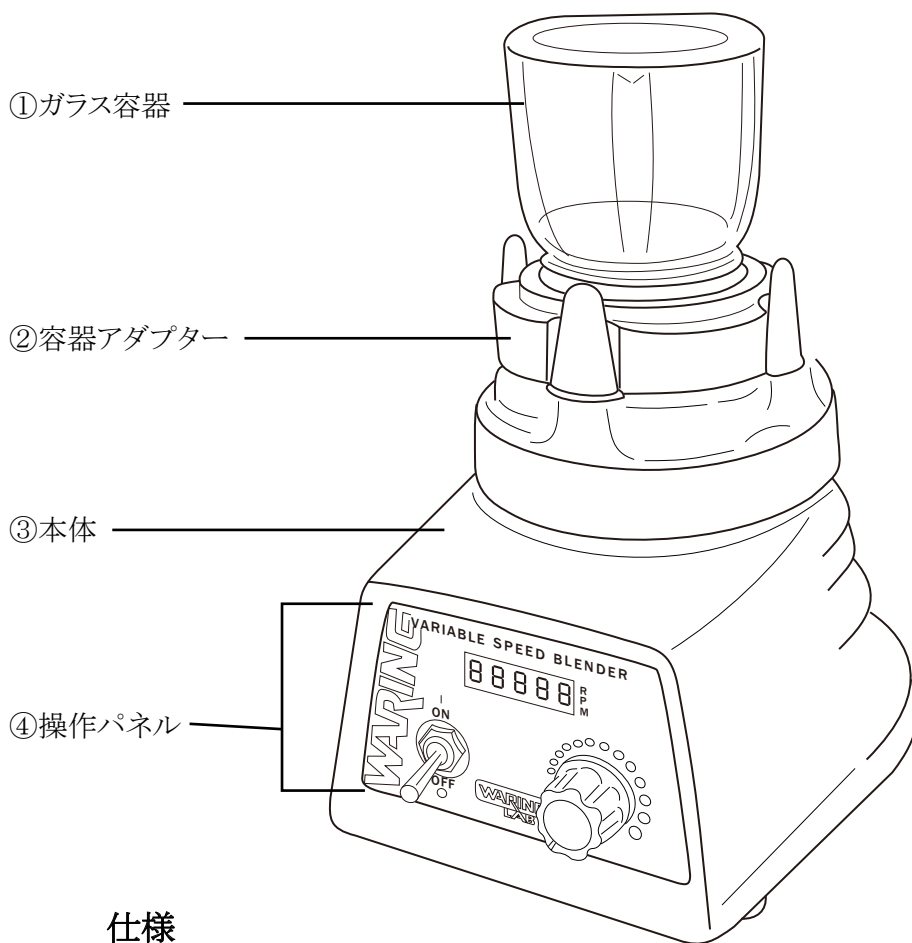
LB10XBC

取扱説明書

ワーリングブレンダー

この度はワーリング ラボラトリーブレンダーをご購入いただき、誠に有難うございました。
本機を正しく事故のないようにお使いいただく為に、ご使用前に必ずお読み下さいます
ようお願い申し上げます。

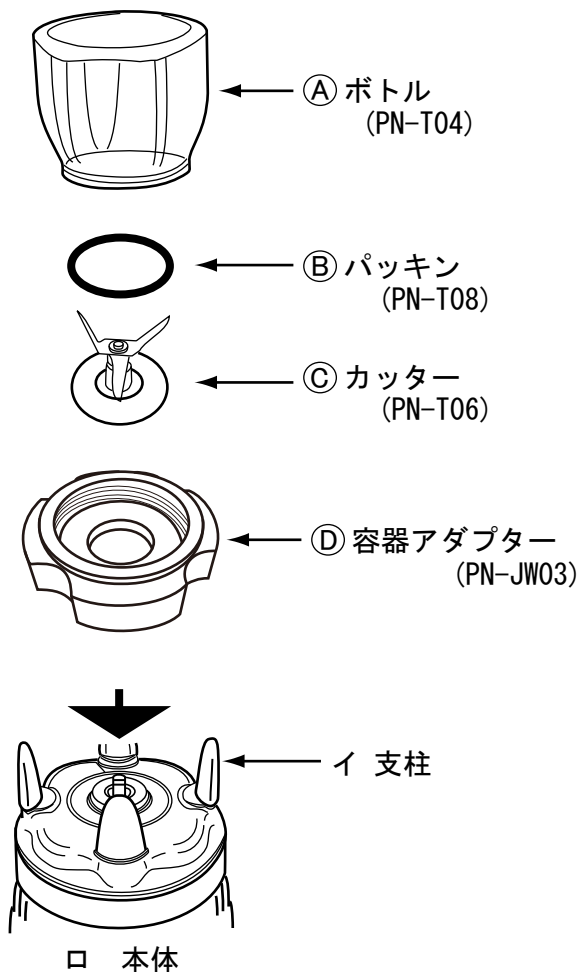
図 -A 各部名称と仕様



仕様

型式	LB10XBC
電源	AC100V, 50/60Hz, 700W
回転数	500rpm ~ 20,000rpm
寸法	190mm x 210mm x 275mm(H)
重量	4.1kg
付属品	容器 250mL (ガラス製)、カッター組込容器アダプターセット済

図 1



ボトルブレンダー 容器セットの組立

1. 図 1 よりボトル①に図 2 の 1 のように試料を入れて下さい。この時、試料は容器容量 (約 250mL) の半分以下にしてください。
2. 次にボトル ① の口にパッキン②をのせます。(図 2 の 2)
3. さらにカッター ③ の刃をボトルの内側に入れます。(図 2 の 3)
4. 最後に容器アダプター ④ でしっかりボトルを締め付けます。この時ネジロの締め付けに歪みがなく真っ直ぐにねじ込まれているかを確認して下さい。(図 2 の 4)
5. 1 ~ 4 の作業が終わったらボトルセットを逆さまにして、本体の 4 本の支柱 (図 1 のイ) の内側にはめ込んで下さい。

図 2

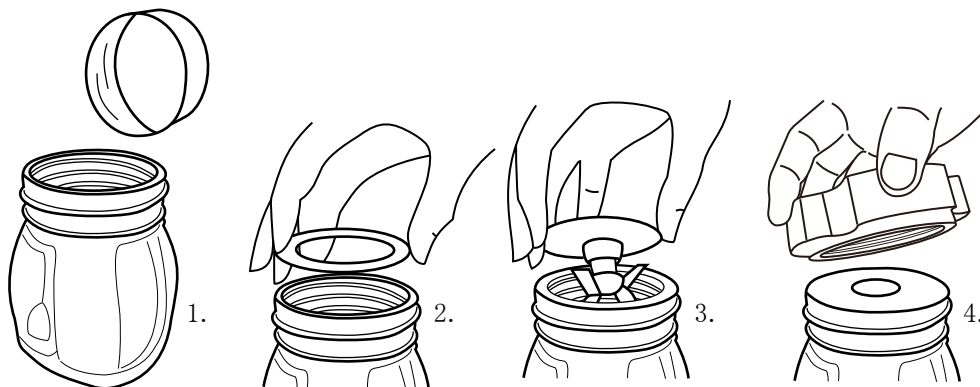


図-B
操作パネル図

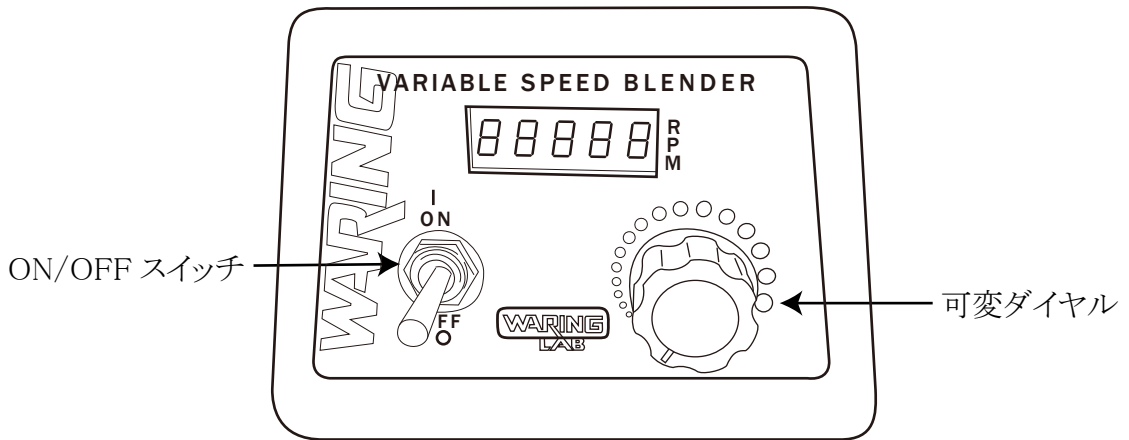
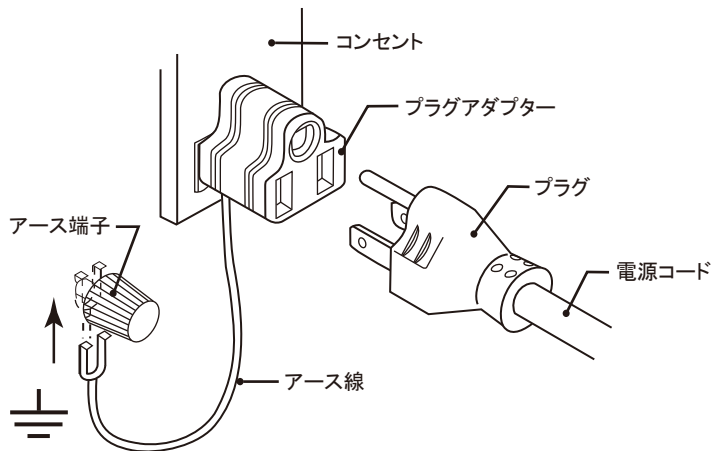


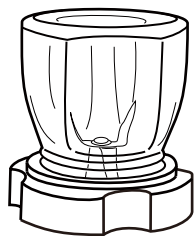
図-C
電源プラグとコード



操作手順

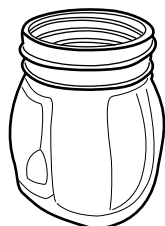
- ◎ 先ず初めに、図 -A より本体③の操作パネル④の ON/OFF スイッチが下に下がった位置 (OFF) にあるかを確認して下さい。もし、ON/OFF スイッチが上に上がっていたらスイッチのつまみを下に下げて下さい。(操作パネル 図 -B 参照)
- ◎ 2 ページの「容器セットの組立」を参照しながら試料をガラス容器に投入し、容器セットを組み立てて本体③に取り付けて下さい。
- ◎ 固形物のみの粉碎処理では粉碎量が著しく少なくなります。最大処理量はおよそ容器量の 3 分の 1 程度を目安にしてください。
- ◎ 有機溶剤や使用温度範囲 (5°C ~ 40°C) を超えるものの使用はご遠慮下さい。
- ◎ 準備が整ったらコンセントに電源コードのプラグを差し込んで下さい。本機の電源コードのプラグは三又です。2 極コンセントの場合は付属のプラグアダプターをご利用下さい。その際、必ずアースをお取り下さい。(図 -C 参照)
- ◎ 本機を稼働させる場合、可変ダイヤルを左 (反時計回り) に回して回転数を一番小さく設定してから ON/OFF スイッチを ON にして運転を始めて下さい。最初から高速回転で運転するとモーターに負荷がかかり、機械が大きく振動して転倒し、機械の損傷及び怪我の原因になることがありますので十分ご注意下さい。低回転で運転を始めて、安全を確認してからご希望の回転数にセットして下さい。(操作パネル 図 -B 参照)
(注：負荷がかかると、RPM 表示は変動します。)
- ◎ 又、この機械の起動時や運転中は容器の上部に手を添えて機械の安定を維持して下さい。
- ◎ 作業が終わったら ON/OFF スイッチを OFF にして運転を止めて下さい。そして、コンセントからプラグを外して下さい。
- ◎ モーターの回転が完全に止まったのを確認してから容器セットを本体から取り外して下さい。
- ◎ 容器、カッター、パッキンやアダプタ等部品は、使用後洗浄し (中性洗剤以外の洗剤の使用不可) よく乾燥させた後、保存して下さい。その際、皿洗い機での洗浄やオープンでの乾燥はお避け下さい。又、鋭い刃先を持ったカッターの取扱に十分ご注意下さい。

交換部品表



250mL ガラス容器セット

型番 : BC250



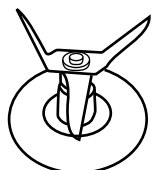
250mL ミニガラスボトル
5 個入

型番 : PN-T04



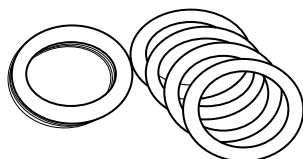
250mL ミニスチロールボトル
2 個入

型番 : PN-T05



ステンレスカッター

型番 : PN-T06



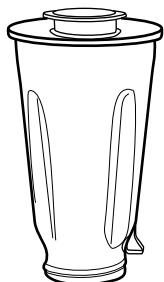
シリコン製パッキン 10 枚入

型番 : PN-T08



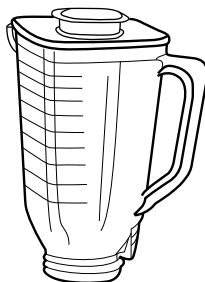
容器アダプター

型番 : PN-JW03



1L SUS ボトル

型番 : PN-T03



1L スチロールボトル

型番 : PN-T02

注意事項

- ◎ 機械の改造はしないで下さい。火災、感電、怪我の原因になります。
- ◎ 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込がゆるい時は、使用しないで下さい。感電、ショート、発火の原因になります。
- ◎ 本体を水につけたり、水をかける等は絶対にしないで下さい。感電、ショートの原因になります。
- ◎ 干し椎茸の塊や根昆布等、非常に硬いもの、千切り大根等の繊維質の強い試料の粉碎はしないで下さい。破損の原因になります。
- ◎ 有機溶剤や使用温度範囲 (5℃～ 40℃) を超えるものの使用はご遠慮下さい。
- ◎ ガラス製容器を使用する場合、降下、上昇の温度差が 40℃以上の急激な冷却や加温をしないで下さい。破損の原因になります。
- ◎ 運転作業は平らで安定したところで行って下さい。
- ◎ 容器の取り付け、取り外し時は必ず電源プラグをコンセントから取り外してから行って下さい。
- ◎ 試料を入れない状態での空回しはしないで下さい。
- ◎ 屋外では使用しないで下さい。
- ◎ 容器内のカッターは鋭利で危険です、取扱いに十分ご注意下さい。
- ◎ 稼働中は容器の中に手や指、箸、スプーン等は絶対に入れないで下さい。
- ◎ 試運転する場合は容器に半分程度水を入れて行って下さい。
- ◎ 一回の運転は 5 分以内で行って下さい。連続的に使用する場合は、5 分運転すれば暫く (5 分～ 10 分) 停止してから再度運転して下さい。

安全装置 (自動復帰) 説明

本機にはモーターサーマルプロテクターが装備されています。激しい使用で本機が動かなくなった場合は電源スイッチをオフにして、電源コードを抜いてください。

容器を取り外し、モーターが冷えるまで約 5 分間待ちます。

その後電源コードをコンセントに差し込み、運転を続けてください。

注意：温度ヒューズの不用意なリセットによる危険を避けるため、この機器にタイマーなどの外部スイッチング装置から電力を供給したり、ユーティリティによって定期的にオン / オフされる回路に接続したりしないでください。



ラボ用輸入機材専門メーカー

大阪ケミカル株式会社

〒530-0045

大阪府大阪市北区天神西町 5-17 アクティ南森町 2F

TEL 06-6311-1050 FAX 06-6311-1070

E-mail: info@daichem.co.jp

<http://www.daichem.co.jp>